

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長職務代理者 むつ市副市長 川西 伸二 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

3月は、限界集落から脱した泰阜村にて、自然の中で教育をしているNPO法人グリーンウッドの視察研修が主な行事としてありました。限界集落から立ち直った経緯と、自然の中で活動する教育活動を見て、今後のイベントや「むつかつ」に役立てられる事例をたくさん得ることができました。その他にも各種セミナーに参加し、引き出しを蓄えることができました。

（主な活動）

◇3月8日（水） ゼロから始めるネットショップセミナー

物品販売の手段の一つであり、今後の世の中で役立つであろう「オンラインショッピング」に物品を出店する側向けのセミナーに参加した。オンラインショッピングを手段として、販売地域に足を運ぶよう仕向けるやり方があることなど、地域おこし協力隊として、地域おこしの一つの手段を学ぶことができた。

私のミッションの一つに「商品開発」がある。地域で商品開発を過去に何度かしているが、思いのほか売れないという声をよく聞く。販売場所、販売方法、販売時期など、購入してもらうまでのプロセスを工夫することで購入者を増やす手段の一つとしてオンラインショッピングを利用し、最終的には地域に足を運んでもらうまで繋げられるように努めていきたいと、セミナーに参加して思った。

次年度は商品開発と販売ルートの開拓をもって、地域に財を落とし、活性化に努めたい。

◇3月13日（月）・14日（火）・15日（水） 長野グリーンウッド研修

長野県の泰阜村という場所で活動しているNPO法人グリーンウッドの視察研修を行った。泰阜村は名古屋から高速道路を利用して2時間ぐらいの場所に位置し、村内には信号も国道も存在しないという山の中の田舎の村であった。30年ほど前は限界集落と言われていたが、現在では人口1500人ほどで、うち子供は180人ほどと、人口割合のうち子供の数が比較的多い印象であった。その理由の一つに、今回視察研修をしたNPO法人グリーンウッドが関係していた。

NPO法人グリーンウッドは、正式には「グリーンウッド自然体験教育センター」といい、小学4年生から中学生までを対象とした1年間の山村留学を行っている団体である。山村留学中は泰阜村の小学校や中学校に通い、その他の時間帯には子供たちが炊事から何からすべてを決めて生活している。山村留学は毎年20名程度の人数で開催している。夏休みなどには山村留学の子供たちは地元へ帰省するため、空いた施設を使って、毎年総勢445人の小中学生を集めて山賊キャンプを行っている。キャンプ中は何をするかすべて子供たちが決めることが、このキャンプの魅力で、生きる上でのすべてのものを子供たちが子供たちだけで行っている。スタッフは15人で、山賊キャンプ中は全国からボランティアスタッフを募って活動している。

30年前は高齢者が多く限界集落とされていた泰阜村を、現在のように作り変えた裏側には、村長の秘策があった。昭和50年代後半から「在宅福祉」に力を入れ、「福祉の村」と呼ばれるようになった。グリーンウッ

ドの活動もあって、IターンやUターンで村に住む人が増え、特に社会福祉系の仕事をしている人が移住するようになった。現在の村長は「子育て支援」に力を入れ、移住してきた人含め村の子育てに注力することで、現在の人口、子どもの数となっているということであった。

これらの視察研修の中で、個人的に学びたかったことは「自然を相手に活動するうえでの安全管理と楽しさの隣り合わせの部分」に関してである。近年の傾向的に、危ないからと言って危険を経験させない傾向が強いように感じる。多少の危険を経ることで、学び、より楽しさを知っていくと考えているが、安全しか学べない環境下でどう危険を教えていくのか、どう楽しさを教えていくのが疑問であった。これに対する回答が、「命に関わる危険があるなら排除する、近づかないようにするが、命に関わる危険でないのなら、何がどう危険でどう対処しなければいけないのかを一緒に考えている。重要なのは教えるのではなく、一緒に考えること。そうすることで、本当の楽しさを自分たちで見つけていく」と話していた。

この研修に参加したことで、地域おこしの引き出しが増えるとともに、野外活動における一緒に楽しむ、一緒に学んでいく姿勢の重要性を学ぶことができた。これを今後の活動やイベントで活かしていきたいと考える。



2. 翌月の活動予定

4月からは新年度になる。川内、脇野沢での春は初めてであるが、協力隊の任期を終えた後のことを視野に入れて活動していきたい。特に、漁師さんのお手伝いに頻繁に行き、現状を解決できる事業を考え、チャレンジしていきたい。

- 4月 8日 川内町漁協 ホタテ稚貝放流（川内方面）
大畑 清掃活動
- 4月 9日 川内町漁協 ホタテ稚貝放流（桧川方面）
- 4月11日 地域おこし協力隊 辞令交付式